

鳩里小学校 校歌

1、 若木がそよぎ 風かおる

学びの庭に 刀田の塔に

小鳩はのどかに 笛をふき

小鳩は羽ばたき 胸をはる

まごころあわせ伸びゆくわれら

明るい 楽しい 鳩里小学校

2、 加古の流れが こだまする

この大空に 白い雲に

小鳩はひかりを ふりそそぎ

小鳩は希望の 輪をえがく

まごころあわせ伸びゆくわれら

明るい 楽しい 鳩里小学校

～歌詞について～

小鳩というのは、校名からの印象を子ども達自身に重ねたものです。現在の子ども達のはつらつさや、意気と自負を「羽ばたき胸をはる」とし、情操面での豊かさを「のどかに笛をふき」とした。

第二節の「ひかりをふりそそぎ」のふりは降りではなく、そそぐを強めたもので、「希望の輪をえがく」とともに、小鳩が空に群れとぶ姿に、未来への期待と躍動を表現しました。

第一節は、春から初夏へ、第二節は、秋から冬へと季節を設定し、第一節に東の「刀田の塔」をおいて、歴史的な面での校区の誇りを、第二節に、西の「加古川」をおいて、地理的な面での誇りを歌いました。

繰り返しの部分は、誠実と共同を大切に永久発展し続ける子ども達と、明るいたのしい鳩里小学校を歌っています。